

# 暴風雪による被害を防ぐために



北海道では停電や立ち往生・遭難といった暴風雪災害が繰り返し発生しています。テレビやラジオ・スマートフォンなどで悪天候が予想されることを知った時には、今の天気が良くても油断することなく、常に最新の情報を確認しましょう。

## 暴風雪による被害の特徴



もしも暴風雪に遭遇してしまったら…

### 【吹きだまり】

車の運転が大変危険になり、積雪が 20cm 程度でも発進できなくなる場合があります。住宅では FF 式暖房機器等の給排気口がふさがれると、一酸化炭素中毒を起こす危険性があります。

### 【暴風や視界不良(ホワイトアウト)による歩行困難】

強い風や雪で方向感覚を失って自分の位置が分からなくなります。

### 【停電】

電線着氷や強風、飛散物などにより電線が切れるなどして、停電が発生することがあります。

### 【歩行中や屋外にいるとき】

商店やコンビニ、人家など建物の中の安全な場所に移動して天気の回復を待つ。

### 【家の中にいるとき】

FF 式暖房機器等の給排気口が雪でふさがれていないか確認し、必要に応じて除雪する。

### 【車が立往生したとき】

車が立往生した場合は後続車から追突されないようにハザードランプを点滅する。救助が必要な場合は警察・消防に連絡する。(通報する際、吹雪により正確な場所がわからなくても携帯電話のGPSをONにしておくことでだいたいの場所がわかります。)

### 【車内で救助を待つとき】

マフラーの出口が雪に埋められると排気ガスによる一酸化炭素中毒になることがあるのでエンジンを停止するか、防寒のためにやむを得ずエンジンをかける時はマフラー出口を定期的に除雪し、窓を少し開けて、換気を十分に行いましょう。

# 2月

ホテルニュージャパン火災 (1982年2月8日)

1982年(昭和57年)2月8日の午前3時24分に発生。主に火元の9階と10階を中心に同日12時半過ぎまで9時間に渡って燃え続けた。炎は7階にまで達しており、延焼面積は約4,200平方メートルに達した。ホテルの宿泊客を中心に死者33名、負傷者34名を出す大惨事となった。出火原因は宿泊客の寝たばこ(推定)となっている。火災拡大の理由としては、スプリンクラー設備の不備や防火区画が不完全であった、防火戸が解放状態であったなど様々な問題が考えられている(消防博物館資料より抜粋)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8 ホテルニュージャパン火災 (1982年)	9	10 豊浜トンネル 岩盤崩落事故(1996年)	11 建国記念の日	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23 天皇誕生日	24	25	26	27
28						



ストーブを使う時には  
火災に注意

火事・救急・救助は 119 石狩消防署